

令和6年度 学校評価結果表

諫早市立北諫早小学校

- 1 調査時期 令和7年1月20日(月)～1月31日(金)
- 2 調査対象 北諫早小学校 保護者 児童 教職員
- 3 保護者回収数 家庭数で回答依頼 回収率 65%(325/498)

最も高い数値

最も低い数値

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる
2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

項目	番	内 容	R5保	保護者	R5児	児童	R5教	教職員
			平均	平均	平均	平均	平均	平均
学校全体の取組	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて努力している。	3.4	3.4	3.2	3.2	3.4	3.6
	2	子どもは、学校での生活を楽しみにして過ごしている。	3.4	3.4	3.5	3.5	3.2	3.7
心の教育	3	子どもは、優しい心など道徳的な心情や態度が育っている。	3.4	3.3	3.4	3.4	3.1	3.7
児童理解	4	学校は、子どものかかわりを通して児童理解に努め、いじめ問題の予防や早期発見、早期解決に取り組んでいる。	3.2	3.2	3.6	3.6	3.5	3.5
規範意識	5	子どもは、学級や学校のルールを守り、はじめのある生活ができている。	3.3	3.3	3.2	3.2	2.9	2.8
基本的生活習慣	6	子どもは、「早寝、早起き、朝ご飯」の生活習慣が身についている。	3.3	3.2	3.3	3.4	2.7	2.9
	7	子どもは、進んであいさつができる。	3.0	3.0	3.3	3.3	2.7	2.6
	8	子どもは、家庭でテレビやゲームに関する約束を守っている。	2.8	2.8	3.1	3.1	2.4	2.6
健康	9	学校は、子どもの健康管理や体力づくりに努めている。	3.3	3.4	3.4	3.3	3.1	3.3
安全管理	10	学校は、登下校の安全も含め、安全対策の充実に努めている。	3.4	3.3	3.6	3.6	3.3	3.4
学習指導	11	学校は、子どもの多様な意見や考えを大切に、分かりやすい授業づくりに努めている。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2
	12	子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	3.1	3.0	3.3	3.3	3.1	3.2
特別支援教育	13	学校は、子どもの特性に応じた支援をしている。	3.2	3.2	3.4	3.4	3.3	3.2
環境	14	学校は、校舎内外の清掃や教室等の掲示、花壇の手入れなど環境教育に力を入れている。	3.4	3.4	3.3	3.2	3.3	3.3
連携	15	学校は、家庭や地域団体等と連携して子どもの指導を推進している。	3.3	3.3	2.9	2.9	3.2	3.2
	16	学校の働き方改革は進んでいる。					3.2	3.3

【 考 察 ・ 改善策 】

①保護者

○回答率が49%から65%に大幅にアップ(感謝です)

◎最も高い項目

- 1「学校は、学校教育目標の達成に向けて努力している。」
- 2「子どもは、学校での生活を楽しみにして過ごしている。」
- 9「学校は、子どもの健康管理や体力づくりに努めている。」
- 14「学校は、校舎内外の清掃や教室等の掲示、花壇の手入れなど環境教育に力を入れている。」

【考察・改善策】

○概ね、学校取組に対して、理解していただいていることが分かります。ご支援・ご協力ありがとうございます

○2「子どもたちは、学校生活を楽しみに過ごしている」が高評価であったことは、ご家庭でも学校での楽しい様子を保護者に伝えていることが伺えます。ホームページでは、随時学校の様子を伝えるよう心掛けていますが、通信等でももっと学校の様子などをお知らせしていく必要性も感じています。

○9「学校は、子どもの健康管理や体力作りに努めている」については、フッ化物洗口や朝のランニングなど地道な取り組みが評価をいただいていると感じています。学校としましては、体力の向上を課題としてとらえていて、日々の体育、昼休みの遊びなどを通して体を動かす楽しさを味わわせ、持続する動きを多く取り入れる工夫も必要と考えています。

▲最も低い項目

- 8「子どもは、家庭でテレビやゲームに関する約束を守っている。」

【考察】

○一昨年、昨年度同様、もっとも低い評価になりました。スマートフォンやゲームの使用の仕方に課題があります。

【改善策】

○「北小メディアルール（試案）」を作成し、家庭に配付し、ルールに基づきながら使用するよう、子どもが正しい使い方ができるように、また、保護者の方にも持たせる責任について、理解できるようメディア講習会の開催を今後も行っていきます。

②児童

◎最も高い項目

- 4「学校は、子どもとのかかわりを通して児童理解に努め、いじめ問題の予防や早期発見、早期解決に取り組んでいる。」
- 10「学校は、登下校の安全も含め、安全対策の充実に努めている。」

【考察・改善策】

○常にアンテナをはり心の声が拾えるよう、担任だけでなく、北小職員全体で子どもたちを見ていくことを常に意識しています。今後も安心安全な生活ができるよう取り組んでいきます。保護者の方も気づきがありましたらいつでもご連絡ください。

○防犯面では、不審者侵入等の避難訓練を実施しました。登下校時に関しては、地域やPTAと連携して見守りでの安全対策を更に強固なものにしていく必要があります。子どもたちの防犯に対し、他人事ではなく自分事としてとらえるなど意識の改善に取り組んでいきます。また、子どもがいる状態での玄関等の

▲最も低い項目

- 15「学校は、家庭や地域団体等と連携して子どもの指導を推進している。」

【考察・改善策】

○地域団体との連携は、お互いに無理のないように少しずつ協力体制を築いています。今年度から郷土愛をテーマに総合的な学習で地域の教育力をお借りして、校外に出て、講師等もお願いしながら学習を実施しています。今後も相談しながら持続できるよう進めていきます。また、地域貢献ということで学校側が

③教職員

◎最も高いものは、

2「子どもは、学校での生活を楽しみにして過ごしている。」

【考察・改善策】

○授業や休み時間等で子どもが明るく生き生きと生活していると感じています。今後も、目指す児童像の「夢・笑顔・元気」あふれるこどもの育成に向けて信頼関係の構築、楽しくわかりやすい授業を進めていきます。

▲最も低い項目は

7「子どもは、進んであいさつができる。」

8「子どもは、家庭でテレビやゲームに関する約束を守っている。」

【考察・改善策】

○学校の中では、挨拶をよくしますが、外部からの来客等についてはまだ十分ではありません。レベル3を基準として指導を重ねていきます。大人が挨拶のお手本となり、励行をお願いします。できたときには大いにほめていきましょう。

○保護者と協力して、約束については、守っていくことができるよう、また、危機感をもって正しい使い方ができるよう常に情報を共有しながら進めていきます。

【相違点】

5「子どもは、学級や学校のルールを守り、けじめのある生活ができています。」

【考察・改善策】

○職員と保護者のずれがありますが、もっと子どもたちはきちんとできるとはずと思っているということです。

けじめをつけることの大切さ、社会に出てルールはしっかり守るという、一人の人間として胸を張っていけるよう育てていきたいと考えています。

6「子どもは、早寝、早起き、朝ご飯の生活習慣が身についている。」

【考察・改善策】

○子供たちの成長に大きくかかわる部分です。ご飯が食べられない原因を解消し、早く起きてしっかり食事が食べることが、よりよい成長につながることは、保護者の方も十分お分りになっていると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

12「子どもは、家庭学習の習慣が身についている。」

【考察・改善策】

○学びの習慣化については、再度低中高学年ごとの勉強の仕方について確認する必要があります。家庭学習については、宿題と自主学習的なものをどのように課題として出して、どのようにするのか子どもたちも保護者も理解ができるよう具体的な手立て（学級通信での紹介、懇談会での説明など）を講じるようにしていきます。